Creative Enzymes®

ムラミルジペプチド (MDP)

Cat. No. LIGC-009

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ムラミルジペプチド（MDP）は、すべての細菌に共通する最小の生物活性ペプチドグリカンモチーフであり、ワクチンにおけるアジュバント活性に必要な基本構造です。MDPはNOD2によって認識されることが示されていますが、TLR2、TLR2/1、またはTLR2/6の関連性では認識されません。この認識はL-D異性体に□して非常に立体特異的であり、D-DまたはL-L類似体に□する反□は除外されます。MDPの強力なアジュバント活性は、CIAS1/NALP3/Cryopyrinインフラマソームの活性化に関連している可能性があります。
別名	N-アセチルムラミル-L-アラニル-D-イソグルタミン (L-D アイソフォーム); ムラミルジペプチド (L-D 異性体、活性); ムラミルジペプチド; MDP

製品情報

形態	凍結乾燥粉末
CAS登□番号	53678-77-6
分子式	C19H32N4O11
分子量	492.5
濃度	作業濃度: 10 ng - 10 μg/ml
特異性	NOD2作動□
溶解度	水中の10 mg/ml

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで保管してください。再懸濁後、MDPを分注し、-20°Cで保管してください。
安定性	製品は適切に保管された場合、-20°Cで6ヶ月間安定しています。繰り返しの凍結-解凍サイクルを避けてください。